

「主はレアが嫌われているのを見て、彼女の胎を開かれたが、ラケルは不妊の女であった。」

創世記 29 章 31 節

ある時、榎本保郎牧師が牧会する教会の役員夫婦が自宅で夫婦喧嘩をしたそうです。二人は「こんな自分たちでは役員失格だ」とうなだれ、役員を下ろしてもらおうと榎本先生のいる牧師館へ向かいました。すると、牧師館から榎本先生と奥さんの大声で喧嘩する様子が聞こえてきました。役員夫婦はそっと気付かれぬように帰り、二人でこう言ったそうです。「もう少し、役員をさせてもらってもいいかな」。

かれているものと想像すると思います。でも、実のところ、聖書の物語はキレイな話だけではなく、とても人間くさい話や欲望にまみれた話が数多くあります。しかしそのただ中に神の介入があり、神ご自身が栄光を現されることを私たちは学びます。ヤコブはレアとラケルと結婚しましたが、本当はラケルだけが好きでレアにはさほど好意を持っておらず、むしろ嫌っていました。レアも夫ヤコブは自分の妹ラケルのことを愛していて自分は顧みられないという苦しみを負っていました。

しかし、主なる神様はレアの苦しみを見ておられました。そして主はレアに次々に子どもを与えました。特に4番目の子どもユダは、この子孫の中からダビデ王が生まれ、そしてやがてイエス・キリストがお生まれになります。

ヤコブとその妻たちからイスラエル12部族が発祥しました。その最初は、すべてが整い平和な家庭のうち子供たちが与えられたものではありません。2人の姉妹の嫉妬と憎悪の中に物語が進んだのでした。

レアは夫ヤコブの愛を得る争いにおいては、終生妹ラケルに勝つことは出来ませんでした。しかし、神様から愛されることに満足して夫を愛し続けたのでした。

先週もまだまだ寒い日が続き、北国では大雪との情報がありました。しかし予報では今週は気温が上がるそうです。梅の花も開いており、2月も最終週を迎え、ようやく春の気配を感じられそうです。教会暦では今年は3月2日がレントです。イースターへ向かう一ヶ月半の受難節が始まります。教会ではイースターには洗礼式も予定しています。第6波のコロナ感染拡大が落ち着くことを願いながら、春、そしてイエス様のご復活を祝う季節を待ち望みましょう。

【新型コロナウイルスについて】

① 礼拝式について

第1礼拝 9時／第2礼拝 11時

*オンラインを使用できる方は

そちらをご利用ください。

礼拝映像のネット配信は9時から

(第1礼拝を配信します)

*礼拝堂での出席を希望される方は、事前の申し込みをお願い致します。

② 小学科ホザナ礼拝について

時間 10時20分より

形式 オンライン (zoom)

zoomのID等はスタッフに問い合わせてください

【お祈りください】

■ホザナ春キャンプ

日時 3月26日(土)

11時～16時

会場 蒲田教会

参加費 無料

講師 田辺寿雄先生

(インマヌエル聖宣神学院教会)

・コロナ感染状況で対面にて行うことができないと判断された場合は延期します。代替日4月23日

・対面で行います。オンラインの対応は原則ありません。

・講師について

田辺先生は現在、聖宣神学院の寮監も務めており、林修養生を指導いただいています。かつてはアフリカ・ケニアへ宣教師として派遣されました。京都育ちの明るいキャラクターで説教も楽しく分かりやすく話してくださいます。茅ヶ崎シオンの岸田悟牧師や故萩野久仁子伝道師と神学院の同期生でもあります。

一ヶ月後には感染状況が落ち着いて開催できるようにお祈りください。